

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成26年7月24日(2014.7.24)

【公表番号】特表2013-532284(P2013-532284A)

【公表日】平成25年8月15日(2013.8.15)

【年通号数】公開・登録公報2013-043

【出願番号】特願2013-515296(P2013-515296)

【国際特許分類】

G 01 N 30/60 (2006.01)

G 01 N 30/26 (2006.01)

【F I】

G 01 N 30/60 B

G 01 N 30/26 P

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月5日(2014.6.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

カラム(12)内の中実裏板(14；25；49；59；69；79；82；92；112)と充填ベッド(15；35)の間に略円錐形の分配流路(13；24)を画成する、カラム(12)用の流体分配器(11；21；40；50；60；70；80；101；110)であって、当該流体分配器(11；21；101)が、上記分配流路(13；24)の容積を実質的に満たす2枚以上の円形及び/又は環状の流体透過性多孔質ディスク(22、23；31～34；41～44；61～63；71～73；81；91；114)を備える、流体分配器。

【請求項2】

当該流体分配器(21)が、充填ベッド(15；35)と直面した多孔質リテナディスク(18；22；34；44)と、分配流路(13；24)の多孔質リテナディスク(18；22；34；44)と中実裏板(14；25；49)の間の容積部分を満たす1枚以上の多孔質分配ディスク(23；31～33；41～43；61～63；71～73；81；91)とを備える、請求項1記載の流体分配器。

【請求項3】

各々の多孔質分配ディスク(23；31～33；41～43；61～63；71～73；81；91)が三次元連続細孔構造を有する、請求項2記載の流体分配器。

【請求項4】

第1の円形又は環状多孔質ディスク(31；41；71)が、第2の環状多孔質ディスク(32；42；72)の内側に同心に嵌め込まれる、請求項1乃至請求項3のいずれか1項記載の流体分配器。

【請求項5】

第2の多孔質ディスク(32；42；72)が、第1の多孔質ディスク(31；41；71)よりも薄い厚さを有する、請求項4記載の流体分配器。

【請求項6】

第2の環状多孔質ディスクが、第3の環状多孔質ディスク(33；43)の内側に同心に嵌め込まれる、請求項4又は請求項5記載の流体分配器。

【請求項 7】

2以上の内部同心環状凹部(46～48, 56～58, 66～68; 78; 94; 113)の階段状パターンを有する円形の中実裏板(49; 59; 69; 82; 112)と、環状凹部に取り付けられた2枚以上の円形及び/又は環状多孔質ディスク(41～43; 61～63; 71～73; 81; 91; 114)とを備える、請求項1乃至請求項6のいずれか1項記載の流体分配器。

【請求項 8】

第1の円形又は環状多孔質ディスク(31; 41; 71)が内側の環状凹部(46)に取り付けられ、第2の環状多孔質ディスク(32; 42; 72)が、外側の環状凹部(47)に取り付けられて第1の円形又は環状多孔質ディスク(31; 41; 71)の外側に同心に嵌め込まれ、第2の環状多孔質ディスク(32; 42; 72)が任意には第1の円形又は環状多孔質ディスク(31; 41; 71)よりも薄い厚さを有する、請求項7記載の流体分配器。

【請求項 9】

第1の円形又は環状多孔質ディスク(61)が内側の環状凹部(66)に取り付けられ、第2の円形又は環状多孔質ディスク(62)が外側の環状凹部(67)に取り付けられて第1の円形又は環状多孔質ディスク(61)と平面当接する、請求項7記載の流体分配器。

【請求項 10】

中実裏板(92)の環状凹部(94)の縁部(93)が、各凹部平面に対して鋭角をなす、請求項7又は請求項8記載の流体分配器。